

第33回理事会・第17回社員総会 議決

令和元年度

事業報告書

平成31年4月1日から

令和2年3月31日まで

公益社団法人 北之台雅楽アンサンブル

【基本方針】

- (1) 公益目的事業Ⅰ—国内雅楽演奏会等の開催
- (2) 公益目的事業Ⅱ—海外雅楽公演等の開催
- (3) 公益目的事業Ⅲ—教育機関等における雅楽紹介
- (4) 管理・広報部門の充実（法人活動）

【具体的事業】

1. 公益目的事業Ⅰ—国内雅楽演奏会等の開催

① 国内雅楽演奏会

【事業名1：地域における雅楽の振興】

- a. 事業の趣旨：例年、いすみ市岬町天神社で行われる「おたち祭」に奉納させていただき、地元で雅楽の振興を深めることを願いとした。
- b. 日 時：令和元年10月31日（木）17時半と18時の二回
- c. 場 所：長者天神社境内（千葉県いすみ市）
- d. 参加者：一般 約100名
- e. 入場料：無料
- f. 内 容：雅楽演奏
管絃「黄鐘調音取」「千秋楽」
舞楽「浦安の舞」
- g. 主 催：岬町商工会
- h. 反 響：
 - ① 天神社の宮司さんより、「毎年、おたち祭に奉納いただき、参加される地域の皆様からも大好評です」と謝意をいただいた。
 - ② 岬町商工会よりも、今後も継続して欲しい由、依頼を受けた。

② 雅楽に関する講演会

【事業名1：第十回「雅楽と国際文化交流」】

- a. 事業の趣旨：本企画は、国内外の各界の有識者を招聘し、日本文化を中心に多岐に渉るテーマについて講演を行い、国際文化交流を推進すると共に、日本の伝統文化である雅楽の紹介を願いとしている。

本年は、第一部でトミオ・ペトロスキー教授（米国テキサス大学物理学教授、大阪大学客員教授）の講演をいただいた。

第二部では、元宮内庁式部職楽部首席楽長・安齋省吾師に特別出演いただき、雅楽演奏を行った。

b. 日 時：令和元年 10 月 13 日（日）14 時 30 分～17 時

c. 場 所：紀尾井小ホール（東京、紀尾井）

d. 参加者：一般 約 100 名

e. 入場料：前売り 2,500 円、当日 3,000 円

f. 内 容：講演と雅楽演奏

第一部：講演

講 師：トミオ・ペトロスキー教授

（米国テキサス大学物理学教授、大阪大学客員教授）

テーマ：「物理学で雅楽を語る～副題：日本と西洋の文化の違いから眺めた物質と生命と人間」

第二部：雅楽演奏

管絃「黄鐘調音取」「千秋楽」「西王楽破」

舞楽「北庭楽」

安齋省吾師による笛の独奏：御神楽「庭燎（にわび）」

g. 主 催：公益社団法人北之台雅楽アンサンブル

h. 反 響：

- ① 公演前日の台風 19 号関東直撃により、公演当日は都内の交通機関が早朝より運休が相次ぎ大混乱を受けたが、公演を予定通り無事開催することが出来た。交通事情で来場できなかった方々がいたが、来賓者始め約 100 名の方々が参集した。
- ② 第一部の講演、物理学の「複雑系」「散逸構造理論」を切り口に、「雅楽とカオス」について、さまざまな角度からユーモアたっぷりに説明をされ、参加者からは、「物理学という難しい話を大変分かりやすく説明いただき、興味が湧き、とても楽しかった」といった反響が多かった。
- ③ 第二部では、本年 7 月に実施された「オーストリア・ポーランド雅楽公演」の演目である管絃「黄鐘調音取」「千秋楽」「西王楽破」及び、舞楽「北庭楽」を紹介した。
- ④ 最後に、安齋省吾先生の御神楽「庭燎（にわび）」の笛の独奏があった。「今日の雅楽は、とても澄んだ音色で、心が落ち着く素晴らしい演奏でした」と、多くの方々に好評であった。

2. 公益目的事業Ⅱ—海外雅楽公演等の開催

① 海外雅楽公演及びそれに伴う事業

【事業名1：2019 米国ボストン日本まつり雅楽演奏】

- a. 事業の趣旨：ボストン日本まつりは、現地日系企業、邦人団体が主催となり、日本文化を紹介するイベントであり、雅楽を通して日米両国の相互理解、友好親善に貢献することを願いとした。
- b. 渡航期間：平成31年4月24（水）～29日（月）
- c. 公演日：平成31年4月27日（土）、28日（日）
- d. 場所：ボストン・コモン公園
- e. 主催：ボストン日本まつり実行委員会
- f. 対象：一般約1,000名（27日、28日両日で）
- g. 内容：雅楽演奏
安齋先生による龍笛の独奏「胡飲酒破」、「酒胡子」
舞楽「五節舞」
- h. 渡航人員：楽師2名、舞人1名
- i. 主催：ボストン日本まつり実行委員会
- j. 協賛：サンボー5財団
- k. 後援：Japan Society of Boston
- l. 反響：
 - ① 雅楽の演奏が始まると、会場となっているボストン・コモンは賑やかなお祭りのムードが一変し、厳かで静かな雰囲気になりました。
 - ② ボストン日本祭り実行委員会会長からは「ボストン日本祭り2019のスポンサーをしていただき、また舞台上では素晴らしい演技、そして安齋先生をご招待いただきましてありがとうございました。本当に素晴らしい舞台に感動いたしました。皆様のご支援があるからこそ続けられる日本祭りです。是非来年も引き続きサポートをお願いできれば幸いです」との謝意を頂いた。

【事業名2：2019 台湾雅楽公演】

- a. 事業の趣旨：雅楽を通して、日台の友好親善に貢献すること、又雅楽と中国伝統音楽との交流を図ることを趣旨とした。
- b. 渡航期間：平成31年4月9日～16日

c. 公演日・場所・参加人数：

- 4月10日 文藻外語大学（高雄）参加人数約400名
- 4月11日 台南国立芸術大学（台南）参加人数約200名
- 4月13日、14日 台湾国立伝統芸術センター（台北）
参加人数（13日約430名、14日約280名）

d. 演 目：管絃「双調音取」「柳花苑」「樂器紹介」「陵王」
舞樂「甘州」「陵王」

※二部構成90分

※4月14日台湾国立伝統芸術センター公演においては、
台湾国楽団と「平調越殿樂」のコラボレーション及び、
神樂舞「浦安の舞」を演奏。

e. 渡航人員22名

f. 助 成：公益財団法人日本台湾交流協会

g. 評価・反響：

- ① 文藻外語大学は、クリスチャン系の私立の外語大学で、日本語学科は1,000名を超える学生が登録。当日は、同大学学長、副学長、高雄市の有識者始め、約400名の来場者があり、大好評であった。初めて触れる雅楽に参加者より感動の声を多く頂いた。
- ② 台南国立芸術大学は、台湾国内にある三つの国立芸術大学の一つで、教員・学生とも全寮制で、英才教育に評価が高い。公演では、音楽を専門にする学生及び教職員約200名が参加した。台南市では初めての雅楽演奏会となり、中国に源流を持つ雅楽を間近に鑑賞することが出来た学生達には大好評であった。
- ③ 台北国立伝統芸術センターは、台湾政府文化部管轄にあり、今回の台北公演に当たっては、当該アンサンブル楽団員全員が台湾政府より就労許可書を取得しての演奏会となった。両日ともほぼ満席で多くの入場者があり雅楽に対する関心の高さが示された。一日目は雅楽のみの公演となり、司会は、日本文化に明るく、日本語が流暢な王女史が担当。二日目は同センター所属の中国伝統音楽の演奏団体である台湾国楽団（60名規模のオーケストラ）とのコラボレーションが実現した。特に、「越殿樂」を台湾の若手作曲家が編曲され、雅楽との共演は素晴らしい演奏となり、観衆の大喝采をいただいた。まさに、台湾と日本両国の芸術交流の象徴として大変意義深い公演となり、大成功を収めたと言える。

- ④ 2020年には、同台湾国楽団 50 名を当該アンサンブルが所在する千葉県いすみ市にお迎えし、「台湾国楽団と雅楽のコラボレーション」を実施することが決定している。
- ⑤ 2020年11月には、国立伝統芸術センター前館長であり、台北国立芸術大学の呉教授（民族音楽専門）に「第十一回雅楽と国際文化交流」の講師をお願いし、承諾いただいた。テーマは「台湾伝統音楽の紹介」。台湾伝統音楽家4名に同行いただけることになった。今回の台湾雅楽公演を期として、日台の交流が相互に継続され、より一層深まることを確信した。

【事業名3：2019 オーストリア・ポーランド雅楽公演】

- a. 事業の趣旨：本事業は、日本ポーランド国交樹立 100 周年及び日本オーストリア国交樹立修好 150 周年を記念し、「100年、150年より 1,000年へ：雅楽千年のオーケストラによる祝賀」を理念に、二国間ひいては全人類の未来への益々の友好発展を祈る事業とすることを目的とした。
- b. 渡航期間：令和元年 7 月 2 日～11 日
- c. 公演日・場所・参加人数・主催：
 - ① 7 月 3 日（水）リンツ・シュタイレック城（約 180 名）
 - ◇主催：墺日協会、シュタイレック宮殿
 - ◇後援：日本オーストリア友好 150 周年記念事業認定
 - ② 7 月 5 日（金）ウィーン・世界博物館（約 300 名）
 - 「墺日修好 150 周年記念・日本の夏祭り」オープニング式典
 - ◇主催：墺日協会、ウィーン世界博物館
 - ◇共催：在オーストリア日本国大使館
(日本オーストリア友好 150 周年記念事業認定)
 - ③ 7 月 7 日（日）クラコフ・マンガ博物館（約 250 名）
 - ◇主催：マンガ博物館
 - ◇後援：在ポーランド日本国大使館
(日本ポーランド国交樹立 100 周年記念事業認定)
 - ④ 7 月 9 日（火）ワルシャワ・アジア太平洋博物館（約 150 名）
 - ◇主催：アジア太平洋博物館
 - ◇後援：在ポーランド日本国大使館
(日本ポーランド国交樹立 100 周年記念事業認定)
- d. 内 容：雅楽演奏（二部構成 90 分）
 - 管絃「黄鐘調音取」「千秋楽」「西王楽破」

「拾翠楽（リンツのみ）」（楽器紹介含む）

舞楽「北庭楽」「陵王」「浦安の舞」

e. 渡航人員：18名

f. 助成：国際交流基金、日本万国博覧会記念基金

g. 評価・反響：

- ① 来場者のほとんどの方々が初めて触れる雅楽を堪能され、日本文化理解をより深めることが出来たと大好評であった。主催者より、本事業に対し大変有意義であったと高い評価をいただいた。公演終了後のレセプションでは、当該アンサンブルに日本より同行いただいたボランティアの方々のサポートがあり、茶の湯お点前及びお呈茶をさせていただくことが出来、来場者の方々に喜ばれた。サルム伯爵は那須塩原市との姉妹都市交流にも尽力されているが、今後も継続した日本との文化交流を切望された。
- ② 日本オーストリア修好 150 周年を祝う「日本の夏祭り」企画のメイン行事として、小井沼日本大使、世界博物館シッケルグラーバー館長、墺日協会レオポルド会長を始めとした現地有識者が多く集われる記念式典にて雅楽を演奏することが出来、大きな評価を得ることが出来た。多くの聴衆が公演に満足され喜んでいた。このような素晴らしい公演はオーストリアにおいてかつてなかった。聴衆、会場スタッフの多くの方々がこの傑出した公演を賞賛した。主催者より、舞台設営から本公演そして舞台撤収まで運営に対して当該アンサンブルのチームワークの良さを賞賛いただいた。
- ③ 高いレベルの管絃及び舞楽を堪能することが出来たとの声をいただいた。楽器紹介がとても分かりやすく多くの聴衆に受け入れられた。雅楽に初めて触れられる方が多く、貴重な体験をすることが出来たと感謝された。
- ④ 特異な音楽に対する興奮を得た。世界で最も古い伝統音楽の一つである雅楽をライブで聴くことが出来たのは稀な機会であった。楽人との身近で親密な距離感が良かった。日本文化研究の一步として大変興味深かった。特に、最後の神楽舞「浦安の舞」の演奏中に、涙を流して感動していた方がおられたと伺った。ご臨席いただいた在ワルシャワ日本大使館広報文化センター堀内所長より、「質の高い音楽と構成の素晴らしさに多くの方が感動された」と所感をいただいた。

【事業名 4：アフリカ音楽との雅楽公演】

本事業は、内閣府大臣官房公益法人行政担当室より、Covid19 新型コロナウイルス感染症の発生を踏まえたイベント開催についての協力依頼を受け、検討した結果、本公演の開催を中止することとした。

【事業名 5：マカオ雅楽公演】

- a. 事業の趣旨：一般社団法人アジア文化芸術遺産研究機構より、第 4 回澳門無形文化財及び古代藝術国際博覧会（マカオ返還 20 周年記念特別展）に招聘をいただき、日中友好に資することを願いとした。
- b. 渡航期間：令和元年 12 月 17 日～20 日（3 泊 4 日）
- c. 公演日：令和元年 12 月 18 日、19 日
- d. 会 場：ザ・ヴェネチアン・ホテル（マカオ） 日本ブース
- e. 主 催：中国無形文化財保護協会
- f. 後 援：マカオ基金会、マカオ特別行政局政府文化局、マカオ貿易投資促進局
- g. 対 象：一般 約 100 名
- h. 渡航人数：楽人 6 名
- i. 内 容：管絃 平調「越殿楽」「陪臚」
舞楽「陵王」「浦安の舞」
- j. 評価・反響：
 - ① 「マカオ無形文化財及び古代芸術国際博覧会」は、中国の無形文化遺産・古代芸術をはじめとする展示やオークションが行われる大規模なイベントで、今年は第 4 回目となり、またマカオ返還 20 周年の記念すべき年に当たり、期間中には習近平国家主席もマカオを訪問された。
 - ② 日本より木戸泉酒造、江戸千家茶道、一般社団法人全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会、日本舞踊花ノ本流、日本刀研ぎ師・藤代興里氏等、多数の団体が参加された中でのイベントだった。主催者側より、雅楽紹介実現に感謝された。
 - ③ 会場となったザ・ヴェネチアン・ホテルのカンファレンス・ルームは、広さが 1.3 万平方メートルもある巨大な空間で、中国の美術品や文化を展示するブースの他に日本ブースが設けられ、ここに舞台が設えつけられた。
 - ④ 演奏は、12 月 18 日、19 日の 2 日間で 2 回ずつの 4 公演で、管絃は平調の「越天楽」「陪臚」、舞楽は「陵王」「浦安の舞」を披露して大変好評であった。

- ⑤ 主催者側より、来年度は、台湾でのイベントを検討中であり、実施の際には、雅楽公演の依頼を考えている由、連絡があった。

②海外における教育機関等における雅楽演奏会、日本文化体験教室

【事業名1：ウィリアムズカレッジにおける雅楽演奏】

- a. 事業の趣旨：上記「ボストン日本まつり」の outgoing に合わせ、ウィリアムズカレッジでの雅楽の演奏を行い、学生・教職員を対象に日本文化を紹介することを目的とした。
- b. 公演日：平成31年4月25日（木）
- c. 会場：ウィリアムズカレッジ ダンススタジオ
- d. 主催：ウィリアムズカレッジ日本文化学科
- e. 対象：同大学学生・教職員約50名
- f. 内容：ワークショップ 龍笛の体験学習
龍笛の独奏、「越殿楽」
舞楽「五節舞」
- g. 反響：学生達は日本の伝統音楽を体験することが出来、大変喜ばれた。

3. 公益目的事業Ⅲ—教育機関等における雅楽紹介

① 雅楽演奏会

本年度は、対象となる事業はなかった。

② 雅楽体験教室

【事業名1：伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業 千葉県庁委託事業】

- a. 事業の趣旨：当該事業は千葉県環境生活部県民生活・文化課策定の「伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業」実施要項に基づき実施する。千葉県内の小中学校の児童・生徒を対象に、邦楽理解の向上と伝統的音楽文化の普及・振興、並びに邦楽における後継者育成に寄与することを趣旨とした。

b. 日時・場所：

令和元年10月03日	袖ヶ浦市立昭和小学校	240名
令和元年10月25日	我孫子市立高野山小学校	300名

令和元年 11 月 14 日	野田市立関宿中学校	61 名
令和元年 11 月 21 日	野田市立尾崎小学校	340 名
令和元年 11 月 26 日	我孫子市立我孫子第四小学校	161 名
令和元年 12 月 09 日	木更津市立清見台小学校	256 名
	合 計	1,358 名

c. 内 容 :

① 鑑 賞

- ・ 雅楽鑑賞 管絃「楽器紹介」「平調音取」「越殿楽」
- ・ 舞楽鑑賞 舞楽「北庭楽」

② 楽器体験

- ・ 生徒が 6 グループに分かれて打物（鞆鼓・太鼓・鉦鼓）、笙、箏、龍笛、箏、琵琶の 8 種類の楽器を体験した。

d. 出向人員：楽人 11 名、舞人 4 名、スタッフ 8 名 計 23 名

e. 反 響：実施した学校より以下の通り主な感想をいただいた。

- ① 子供たちは、それぞれに楽器を体験し、演奏することの難しさを体験した。ただ聴くのと演奏するとの違いを感じていた。なかなか音の出ない楽器もあったようだが、演奏者の指導により音を出すコツを教えてもらい、音が出る喜びを感じていた。
- ② 雅楽の千年にも及ぶ歴史の継承に驚いていた。歴史上に名のある織田信長、豊臣秀吉、徳川家康等が、実際に雅楽を支援して今日まで続いていることを学び、日本の伝統とその文化の深さを知ることができた。
- ③ 雅楽の生演奏を至近距離で聴くことができ、楽器を実際に体験し、先生方から直接たくさんを教えていただき、貴重で、学びのたくさんあった 2 時間でした。生徒たちも大変感動しており、日本の文化や雅楽に誇りを持ち、もっと知りたい、もっと聴いてみたいという声がたくさん上がっていた。

③ 雅楽研修会

本年度は、対象となる事業はなかった。

4. 管理・広報部門の充実（法人活動）

① 広報活動

- a. Web、情報誌、パンフレット、チラシを媒体とした PR 活動の推進
- b. 賛助会員募集（個人会員）の推進
- c. 情報誌（年一回）の作成（賛助会員配布用）

② 事務機能の充実

- a. 定款による事務業務の遂行
- b. 事務職員（パート）を雇用し、事務機能の充実を図った。

以 上